

疲れ果ててしまわないために

ヘブル 12:1~4

こういうわけで

このように多くの証人たちが  
雲のように私たちを取り巻いている  
のですから

私たちも、一切の重荷と  
まとりつく罪を捨てて

自分の前に置かれている競走を  
忍耐をもって

走り続けようではありませんか。

信仰の創始者であり

完成者であるイエスから  
目を離さないでいなさい。

この方は、ご自分の前に置かれた喜びの  
ために、辱めをもものともせず  
十字架を忍び

神の御座の右に着座されたのです。

あなたがたは

罪人たちの、ご自分に対する

このような反抗を耐え忍ばれた方のことを  
考えなさい。

あなたがたの心が元気を失い

疲れ果ててしまわないようにするためです。

あなたがたは

罪と戦って、まだ血を流すまで

抵抗したことがありません。

信仰の競走 12:1~2

信仰の訓練 12:3~11

反抗を耐え忍ばれたイエスを  
考えなさい。

あなたがたは

罪人たちの、ご自分に対する

このような反抗を耐え忍ばれた方のことを  
考えなさい。

あなたがたの心が元気を失い

疲れ果ててしまわないようにするためです。

あなたがたは

罪と戦って、まだ血を流すまで

抵抗したことがありません。

あなたがたは（ヘブル書の受信者たち）

罪人たちの、ご自分に対する

このような反抗を耐え忍ばれた方のことを  
考えなさい。

あなたがたの心が元気を失い

疲れ果ててしまわないようにするためです。

あなたがたは

罪と戦って、まだ血を流すまで

抵抗したことがありません。

## 当時の兄弟姉妹の状態

1. 兄弟たちは、信仰に対する初めの熱意を失っていた。
2. 兄弟たちは、信仰の進歩がなかった。
3. 兄弟たちは、旧約の教えに、逆戻りしようとしていた。
4. キリストの再臨への希望が、次第に薄れ始め  
集会をやめる兄弟たちが出始めていた。



あなたがたは

罪人たちの、ご自分に対する

このような反抗を耐え忍ばれた方のことを

考えなさい。

あなたがたの心が元気を失い

疲れ果ててしまわないようにするためです。

あなたがたは

罪と戦って、まだ血を流すまで

抵抗したことがありません。

あなたがたは

罪人たちの、ご自分に対する

このような反抗を耐え忍ばれた方のことを  
考えなさい。

あなたがたの心が元気を失い

疲れ果ててしまわないようにするためです。

あなたがたは

罪と戦って、まだ血を流すまで

抵抗したことがありません。

キリストは、肉体をもって生きていた間  
自分を死から救い出すことができない方に  
向かって

大きな叫び声と涙をもって

祈りと願いをささげ

その敬虔のゆえに聞き入れられました。

キリストは御子であられるのに

お受けになった様々な苦しみによって

従順を学び…

キリストは、**肉体をもつて生きて**いる間  
自分を死から救い出すことができるときに  
向かって

大きな叫び声と涙をもって

祈りと願いをささげ

その敬虔のゆえに聞き入れられました。

キリストは御子であられるのに

**お受けになった様々な苦しみによって**

従順を学び…

キリストは、神の御姿であられるのに

神としてのあり方を捨てられないとは考えず

ご自分を空しくして、しもべの姿をとり

人間と同じようになられました。

人としての姿をもって現れ

自らを低くして

死にまで、実に

十字架の死にまで、従われました。

ピリピ 2章 6〜8節

キリストは、神の御姿であられるのに

神としてのあり方を捨てられないとは考えず

ご自分を空しくして、**しもべの姿**をとり

**人間と同じよう**になられました。

**人としての姿**をもって現れ

自らを低くして

死にまで、**実に**

十字架の死にまで、従われました。

ピリピ。 2章 6〜8節

キリストは、神の御姿であられるのに

神としてのあり方を捨てられないとは考えず

ご自分を空しくして、しもべの姿をとり

人間と同じようになられました。

人としての姿をもって現れ

自らを低くして

死にまで、実に

十字架の死にまで、従われました。

ピリピ 2章 6〜8節

こういうわけで

このように多くの証人たちが  
雲のように私たちを取り巻いている  
のですから

私たちも、一切の重荷と  
まとりつゝく罪を捨てて

自分の前に置かれている競走を  
忍耐をもって

走り続けようではありませんか。

信仰の創始者であり

完成者であるイエスから  
目を離さないでいなさい。

この方は、ご自分の前に置かれた喜びの  
ために、辱めをもものともせず  
十字架を忍び

神の御座の右に着座されたのです。



こういうわけで

このように多くの証人たちが  
雲のように私たちを取り巻いている  
のですから

私たちも、一切の重荷と  
まとりつく罪を捨てて

自分の前に置かれている競走を  
忍耐をもって

走り続けようではありませんか。

信仰の創始者であり

完成者であるイエスから  
目を離さないでいなさい。

この方は、**ご自分の前に置かれた喜びの  
ために、辱めをもものともせず  
十字架を忍び**

神の御座の右に着座されたのです。

あなたがたは

罪人たちの、ご自分に対する

このような反抗を耐え忍ばれた方のことを

考えなさい。

あなたがたの心が元気を失い

疲れ果ててしまわないようにするためです。

あなたがたは

罪と戦って、まだ血を流すまで

抵抗したことがありません。

あなたがたは

罪人たちの、ご自分に対する

このような反抗を耐え忍ばれた方のことを  
考えなさい。

※左記①と②の意味が含まれていることばである

① 何度も何度も、繰り返して

② 今すぐに

イエスを考える理由

1. “あなたがた”の信仰の状態は  
まだ、致命的ではないから。

あなたがたは

罪人たちの、ご自分に対する

このような反抗を耐え忍ばれた方のことを  
考えなさい。

あなたがたの心が元気を失い

疲れ果ててしまわないようにするためです。

あなたがたは

罪と戦って、まだ血を流すまで

抵抗したことがありません。

2. あなたがたが受けている苦難と  
イエスが受けられた苦難を  
比較してみなさい。

あなたがたは

罪人たちの、ご自分に対する

このような反抗を耐え忍ばれた方のことを  
考えなさい。

あなたがたの心が元気を失い

疲れ果ててしまわないようにするためです。

あなたがたは

罪と戦って、まだ血を流すまで

抵抗したことがありません。



子どもでもあるなら、相続人でもあります。

私たちはキリストと、栄光をともに受ける

ために苦難をともにしているのですから

神の相続人であり

キリストとともに共同相続人なのです。

今の時の苦難は

やがて私たちに啓示される栄光に比べれば  
取るに足りないと思えます。

ローマ 8章 17～18節

あなたがたは

罪人たちの、ご自分に対する

このような反抗を耐え忍ばれた方のことを  
考えなさい。

あなたがたの心が元気を失い

疲れ果ててしまわないようにするためです。

あなたがたは

罪と戦って、まだ血を流すまで

抵抗したことがありません。